

## IV 推進事業（計画）一覧

1. 教育活動の充実
2. 教育環境の整備充実
3. 開かれた学校づくり

〈評価指標〉

評価	評価内容	達成状況
A	目標を十分達成	達成率が90%以上
B	概ね達成	達成率が70%以上～90%未満
C	もう少し	達成率が50%以上～70%未満
D	できなかった	達成率が50%未満

## 1. 「生きる力」を育む学校教育の推進

### ①学校経営力の向上と教育施策の推進

事業	内容	本年度目標	予算	決算	成果・課題等	評価
学校経営支援の充実	校長の学校経営方針に基づいて、各学校の状況に即した学校経営支援の充実を図る。	毎月の校長・副校長会や各校2回、指導室訪問を実施し、学校経営への支援を行う。	無			
教育施策の推進	指導室が実施する様々な教育施策の充実を図る。	指導室が実施する諸会議や研修会、事業がその目的に即して充実が図られるよう、指導室長の指示の下、指導主事が的確に進行管理を行う。	無			

### ②豊かな人間性を育むための教育の推進

(単位：千円)

事業	内容	本年度目標	予算	決算	成果・課題等	評価
人権教育の充実	人権教育や道徳教育に関わる研修会や施策の充実を図る。	◆人権教育研修会(4市1郡共同事業)を年3回開催し、各校の人権教育担当者に対する人権教育の理解を深める。 ◆道徳授業地区公開講座において、全学年・学級での公開授業や授業後の意見交換会を実施し、地域と	無			

		<p>の連携に基づく道徳教育の推進を図る。</p> <p>◆道徳教育推進教師研修会（西多摩郡合同事業）を年1回開催し、道徳教育の研修・研究を深め、各校の道徳教育推進教師の資質・能力を高める。</p> <p>◆東京都道徳教育推進拠点校としての取組を推進し、町立学校の道徳教育の充実を図る。</p>				
生活指導の充実	<p>生活指導に関する連絡協議を行い、問題行動への要因や対応策等について理解を深め、児童・生徒の健全育成の充実を図る。</p>	<p>生活指導主任連絡会を年間6回開催（1回は警察署の担当者の招聘）し、児童・生徒の問題行動の実態把握及びその対応について協議して共通理解を図り、各校の組織的な生活指導体制を強化する。</p>	無			
キャリア教育の推進	<p>発達段階に即したキャリア教育の推進を通して、望ましい勤労観、職業観を育み、児童・生徒が社会の中で自分の役割を果たして、自分らし</p>	<p>◆各学校におけるキャリア教育全体計画に即した取組の充実を図る。</p> <p>◆中学生の職場体験学習を通して、勤労体験やボランティア体験などを推進</p>	無			

	い生き方を実現できる ようにする。	する。				
--	----------------------	-----	--	--	--	--

③いじめ・不登校対策の推進

(単位：千円)

事業	内容	本年度目標	予算	決算	成果・課題等	評価
日の出町いじめ防止対策条例の策定推進	いじめ防止並びに重大事案に対応するため、いじめ防止対策条例の制定及び、「いじめ問題対策委員会」の設置を推進する。	いじめ防止対策条例の制定及び、「いじめ問題対策委員会」の設置を検討する。	無			
教育相談室の充実	教育相談機能の充実を図り、児童・生徒及び保護者のニーズに応じた教育相談体制の充実を図る。	教育相談体制を活用して、より機動的に保護者や児童・生徒及び小・中学校の相談ニーズに対応する。	10,096			
学校教育相談研修会の開催	教育相談や支援教育に関わる研修を通して教職員の資質向上と学校支援の充実を図る。	町教委単独開催による教職員対象の研修会を開催し、児童・生徒の理解や支援の在り方等について研修を深める。	90 (教育指導費-教職員指導経費-悉皆研修講師謝礼に含む)			
学校と教育相談室、関係機関との連携体制の充実	教育相談室にスクールソーシャルワーカーを配置して、学校や関係機関	学校、子ども家庭支援センター、適応支援グループ・レッツ等との連携を強	3,312 (教育相談室関係経			

	との連携を強化し、問題を抱える児童・生徒への支援体制の充実を図る。	化し、支援を必要としている児童・生徒への支援の充実を図る。	費に含む)			
学校への適応支援の充実	不登校対策の充実のために適応支援グループを実施し、児童・生徒の学習支援や社会性の伸長を通して適応を促進する。	学校支援主事を活用して、適応支援体制の機能強化(実施日数の増加等)を図り、適応支援グループ事業を充実させる。	774			
学校における 教育相談体制の充実	いじめ・不登校の未然防止、早期発見・早期対応を図るため、各学校における教育相談体制を充実させ、いじめ・不登校対策を組織的に推進する。	◆長期欠席児童・生徒の支援票を活用した登校支援の充実を図る。 ◆各校が作成した「いじめ防止対策方針」に基づき、いじめ対策委員会等を活用して組織的な対応の充実を図る。 ◆年間3回のふれあい月間等の調査を生かして、いじめ・不登校に関する取組を推進する。	無			
不登校の早期発見・早期対応の システムの構築	東京都の「関係機関と連携した総合的な不登校児童・生徒モデル事業」(補助事業)を活用し、不登校の早期において学校と町教委が連携して支	小・中学校に登校支援コーディネーターの教職員を、町教育相談室に登校支援担当相談員をそれぞれ指名し、学校と教委が連携して不登校児童・生徒を早期	未定 (東京都からの内示を待つて、補正予算にて対			

	援を行い、学校不適應の長期化を防止する。	に支援する体制を構築する。	応予定)			
--	----------------------	---------------	------	--	--	--

④学力向上策の充実

(単位：千円)

事業	内容	本年度目標	予算	決算	成果・課題等	評価
授業改善推進プランの作成・活用	児童・生徒の学力向上を図るための調査や全国学力・学習状況調査結果に基づき授業改善推進プランを作成し、学力向上に向け授業改善を図る。	各校が9月までに作成した授業改善推進プランを踏まえて、二学期以降、課題解決型学習などの指導方法の工夫・改善に取り組み、その取組状況を把握しながら、授業改善を推進する。	無			
習熟の程度に応じた少人数指導の充実	習熟度の程度に応じた少人数指導の充実を図り、きめ細やかな指導の推進を図る。	少人数指導の加配教員を活用して「東京方針習熟度別指導ガイドライン」に基づく指導の充実を図る。	無			
外国語や外国語活動の充実	A L Tの派遣事業等を通して、小学校外国語活動及び中学校外国語科における指導の充実を図る。	小学校外国語活動及び中学校外国語科において、全小中学校にA L Tを派遣し、外国の文化や言語について理解を深め、積極的にコミュニケーションを図る能力・態度を育てる指導の充実を図る。	3,726			

学校・学習支援員の活用	「特色ある学校づくり推進事業」を活用して、各校に学校・学習支援員を配置する。	一校当たり小学校に200万円、中学校に150万円を予算計上して、学校・学習支援員を配置し、児童・生徒一人一人の特性や学習状況に応じた個別指導の充実を図る。	9,000			
漢字検定事業の推進	「漢字力向上のための漢字検定活用プラン」に基づき、児童・生徒に漢字を楽しむ力を育むため、小学校4年生以上を対象とする漢字検定を行う。	卒業時までには学校教育で文書読解能力として必要とされている漢字検定能力(小学校は6級、中学校は3級)以上の取得を目指す。	1,620			
I C T (情報通信技術) 推進委員会の設置による I C T 機器の効果的な活用	I C T の効果的な活用を図るため、I C T (情報通信技術) 推進委員会を設置して研修を深め、各校の教育活動の充実を図る。	定期的に委員会を開催し、I C T 機器を活用した学習内容・活動の充実を図る。	50			
理科教育の充実	理科教育設備整備費等補助金事業の活用を図り、学習指導要領の内容に即した理科教育設備の充実を図る。	小中学校における理科教育に関する設備の整備や人材の活用を通して、観察・実験を中心とした学習内容・活動の充実を図る。	1,600		※小学校 600 中学校 1,000	

⑤体力向上・健康増進に向けた取組の推進

(単位：千円)

事業	内容	本年度目標	予算	決算	成果・課題等	評価
オリンピック・パラリンピック教育の推進	2020年東京大会開催に向け、東京都の事業経費を活用して、オリンピック・パラリンピック教育を展開していく。	各校が作成する実施計画に基づき、東京都からの事業経費30万円を活用して、関係機関と連携したオリンピック・パラリンピック教育を推進する。	各校 300			
食育の推進	各小中学校に給食センター栄養士が訪問し、食に関する正しい知識や食習慣を養うための食育授業を行う。	全小中学校、全学年を訪問し、学年に応じた給食指導を行うとともに、栄養バランスの良い食事のとり方などの学習を行う。	無			

⑥教職員研修の充実と若手教員の育成

(単位：千円)

事業	内容	本年度目標	予算	決算	成果・課題等	評価
教職員研修事業の推進	東京都多摩教育事務所及び西多摩郡町村教委が連携して教員研修推進体制を確立し、教職員の資質・能力の向上を図る。	3町1村教育委員会の指導主事が分担して各種研修会の企画・立案・運営を行う。必要に応じて、日の出町教委単独で研修会を企画し、運営を行う。	163			
西多摩郡公立学校の教育研究会組織の充実	西多摩地区小・中学校の教職員が連携して、指導方法の工夫・改善や指導力の向上など、各教科・	西多摩地区の小学校教育研究会や中学校教育研究会に対して、積極的な支援を行い、組織体制の充実	658			



	領域等における研究活動が促進するよう積極的な支援を行う。	を促す。				
学校教育 アドバイザー事業の推進	学校支援主事の設置要綱を整え、学校支援のための業務内容の充実を図る。	学校管理職経験者2名を学校支援主事として指名し、従来の教員アドバイザーの活用を拡大して、若手を含む教員への指導助言、指導主事の補佐、教育相談事業の補佐等を行う。	1,680			

⑦支援教育の推進

(単位：千円)

事業	内容	本年度目標	予算	決算	成果・課題等	評価
特別な支援を必要とする 児童・生徒の就学支援の充実	幼稚園・保育園と町立小・中学校と連携した就学支援の推進体制の整備や児童・生徒の教育的ニーズに関わる適切な指導・支援の充実を図る。	<p>◆年間2回、支援教育運営委員会を開催し、町立学校の就学支援の推進体制の整備・強化を図る。</p> <p>◆就学相談委員会と入級相談委員会をそれぞれ年間6回開催し、特別な支援が必要な児童・生徒の教育的ニーズに即した就学相談の充実を図る。</p> <p>◆指導室と子育て福祉課が連携して、保育要録や就学支援シートを活用し</p>	<p>90</p> <p>(教育指導費-教育指導一般経費-支援教育就学相談委員会関係謝礼)</p>			

		た引継システムの充実を図り、小学校と幼稚園・保育園の一貫した相談支援体制を強化する。				
支援教育コーディネーター連絡会の開催	町教委主催で支援教育コーディネーター連絡会を開催して、学校と教育委員会及び学校間の共通理解を深め、コーディネーターの資質・能力を高める。	町教委主催で年間2回開催し、町教委の支援教育に関する方針の周知や、町立学校間の支援教育の取組状況の共通理解を図り、コーディネーターの組織運営力を高める。	無			
スーパーバイザー巡回相談事業の推進	教育相談室の巡回相談に加え、学識経験者による巡回相談を実施し、校内の支援教育の充実に努める。	専門家が各校2回、巡回訪問し、発達障害等に対する理解や支援を要する児童・生徒への対応等について理解を深める。	280			
副籍事業の充実	特別支援学校に在籍する児童・生徒が居住地の小・中学校に副次的な籍をもち、交流及び共同学習を行うことで、障害者理解を深めるとともに、地域での社会参加や自立につながるようにする。	平成27年度から始まった新制度に即して、在籍校である特別支援学校と連携し、地域指定校である町内小・中学校と協力して、間接的・直接的な交流及び共同学習を着実に実施する。	無			

<p>学校における 支援教育体制の充実</p>	<p>各小中学校の特別な支援を必要としている児童・生徒の状況に即した組織体制を整備・強化する。</p>	<p>◆各校、校内委員会等の組織を活用し、コーディネーターが主体となった支援教育体制の充実を図る。 ◆「特色ある学校づくり推進事業」を活用して、一校当たり小学校に200万円、中学校に150万予算計上して、学校・学習支援員を配置し、児童・生徒一人一人の特性に応じた個別指導の充実を図る。</p>	<p>9000 (学校・学習支援員の経費に含む)</p>			
<p>更なる支援教育の体制強化</p>	<p>小学校における「通級による指導」や学校・学習支援員の活用体制、固定制の支援学級の充実・強化に向けて検討する。</p>	<p>◆平成27年度の協議の方向性を踏まえ、「支援教室」の平成30年度導入に向けて、検討委員会を設置し、当町の実態に即した支援教室の充実を図るための体制強化の概略について具体化する。 ◆「特色ある学校づくり推進経費」による学校・学習支援員の活用の成果と課題を見極め、支援教</p>	<p>無</p>			

		育支援員の配置の必要性について引き続き検討を行う。 ◆情緒障害等の固定制の支援学級設置に向けて、今年度中に検討委員会を設置し、既設の自治体の視察等を行うなど、当町での設置に向けた検討を開始する。				
--	--	--	--	--	--	--

## 2. 教育環境の整備充実

### ①校舎の整備（100万円を超えるもの）

（単位：千円）

事業	内容	本年度目標	予算	決算	成果・課題等	評価
学級増に伴うエアコン設置工事（本宿小）	町内本宿小中学校学級増に伴う、エアコンの設置工事を行う。	小学校教室の教育環境整備を行う。	8,067			
校舎屋根改修三期工事（平井中）	経年劣化による破損・雨漏り防止を図る。	改修工事を実施し、教育環境の改善を図る。	25,294			

### ②体育館・プール・校庭の整備

（単位：千円）

事業	内容	本年度目標	予算	決算	成果・課題等	評価
グラウンド改修整備設計委託料（大久野中）	中学校校庭の改修整備に伴う測量設計委託を行う。	中学校の校庭の環境整備をするための、測量設計委託。	3,273			

運動場芝生化維持管理業務委託（大久野小）	校庭芝生化に伴う、専門業者による芝生維持管理。	芝生の育成。	2,333			
----------------------	-------------------------	--------	-------	--	--	--

③安全・安心な学校づくり

（単位：千円）

事業	内容	本年度目標	予算	決算	成果・課題等	評価
児童用防犯ブザー貸与	不審者対策用として防犯用ブザーを貸与し、児童の安全確保に努める。	不審者対策用として新入学児童を対象に防犯ブザーを貸与し、安全対策に万全を図る。	98			
通学案内指導員の配置	全校に案内指導員を配置し、安全管理、安全対策に努める。	登下校の際、児童生徒の安全対策及び校内巡視や下校用ワゴン車の運行を行い、事件・事故の未然防止と児童・生徒の安全確保を図る。	10,279			
通学路の安全確保	町P連と連携を図り、通学路の安全確保に努める。	町P連からの要望を踏まえ、関係機関と調整を図り、通学路の危険箇所等の改善を図る。	無			
防犯カメラの設置	犯罪抑止効果のある防犯カメラを通学路に設置し児童・生徒の安全を確保する。	各小学校通学路に3台ずつ設置する。	3,420			
青少年問題協議会主催による児童・生徒の安全・安心対	日の出A（安心）・A（安心）大作戦の一環として、	児童・生徒の安全対策について共通理解を図り、安	無			

策	青少年問題協議会・学校・保護者・地域・関係機関と十分連携を図り、児童・生徒の安全確保に努める。	全確保に万全を期する。				
児童用防災ずきん支給	防災対策として防災ずきんを支給し災害時の児童の安全確保に努める。	防災対策として、新入生児童に防災ずきんを支給し、災害時の安全確保を図る。	499			
セーフティ教室の実施	関係機関や保護者・地域と連携して、児童・生徒の安全・安心を目的としたセーフティ教室を実施する。	全町立学校において、年間1回、五日市警察や関係機関と連携したセーフティ教室を開催し、発達段階に即した安全指導・学習を実施するとともに、児童・生徒の安全確保について、地域・保護者と学校が意見交換を行う。	無			

④教育の機会均等の確保

(単位：千円)

事業	内容	本年度目標	予算	決算	成果・課題等	評価
児童生徒就学援助費交付事業の推進	経済的理由により教育費の支出が困難な家庭に対して義務教育の円滑な実施が図れるようにする。	学校納付金等に対し、一部を援助することにより、教育の機会均等の精神に基づき、全ての児童・生徒が義務教育を受けることができるよう配慮する。	8,345			

児童生徒保護者補助金(修学旅行等) 交付事業の推進	修学旅行等を通し、校外における体験的・集団的な活動による望ましい生活態度の育成を図る。	修学旅行、移動教室、社会科見学等に要する経費の一部を補助し、保護者負担の軽減を図る。	4,261			
進学支度金貸付事業の推進	中学校卒業の就学困難者に対し、高等学校等の入学時に要する支度金を貸し付け、進路に要する保護者の負担軽減を図る。	貸付事業の周知徹底を図るとともに、貸付金に係る未償還金の解消に努め、適正な貸付事業の管理に努める。	無			

### 3. 開かれた学校づくりの推進

#### ①学校・家庭・地域の連携・協働の推進

(単位：千円)

事業	内容	本年度目標	予算	決算	成果・課題等	評価
学校評議員制度の充実	保護者や地域住民から幅広く意見を伺い、地域社会に開かれた学校づくりを推進する。	各校で年間3回の学校評議員会を開催し、外部からの意見を踏まえ、学校の教育計画や教育活動の見直し・改善を図り、地域に信頼される学校づくりを推進する。	無			
学校評価の実施・活用	各学校において、学校経営や教育活動に対する学校評価を家庭・地域と連携しながら実施し、学校経営計画に基づいた学	「日の出町学校評価実施要領」の下、家庭や地域の声を踏まえて自己評価を行うとともに、学校関係者評価を受けて、改	無			

	校経営や教育活動の改善・充実を図る。	善策を適切に策定し、保護者・地域と連携を図って学校経営や教育活動の改善・充実を図る。				
学校ホームページや 学校通信の充実	各校の教育活動や学校運営の状況を地域・保護者に対して適切に情報発信し、開かれた学校づくりを推進する。	各校の状況に即して、学校ホームページや学校通信の充実を図り、学校からの情報発信を推進する。	無			
広報の充実	教育行政に関わる取組の積極的な情報提供を図るため、広報活動の充実に努める。	地域に信頼される学校づくりを図るため、「教育ひので」を年間4回の発行し、学校教育に関する情報の積極的な発信に努める。	1,160			

②地域の教育資源の活用

事業	内容	本年度目標	予算	決算	成果・課題等	評価
地域自然の活用	日の出町の豊かな自然を活用した体験活動の充実を図る。	地域の山林や平井川を活用した理科や総合的な時間における調べ学習や体験学習、遠足などの学校行事の充実を図る。	無			



<p>地域人材の活用</p>	<p>関係機関や地域・保護者の教育力を活用した特色ある教育活動の充実を図る。</p>	<p>「特色ある学校づくり推進事業」を活用して、町の関係部署や地域の企業・事業所、地域在住の有識者等と連携して、教科学習や総合的な学習の時間などにおける教育活動の充実を図る。</p>	<p>9000 (学校・学習支援員の経費を含む)</p>			
----------------	--	---	----------------------------------	--	--	--

[文化スポーツ課]

1. 生涯学習・文化・スポーツの推進

①生涯学習活動の支援

(単位：千円)

事業	内容	本年度目標	予算	決算	成果・課題等	評価
ひので町民大学、映画講座、ひので映画大使の開催	ひので町民大学、映画講座、ひので映画大使の開催。	前年度よりも参加者の増とアンケートによる満足度の向上。	2,380			
社会教育関係団体の普及と周知	社会教育団体の存在を広く周知し文化活動の参加を促進する。	各団体の紹介パンフを更新。	700			

②社会教育施設の整備促進

事業	内容	本年度目標	予算	決算	成果・課題等	評価
日の出町やまびこホールの整備と利用促進	施設の紹介と利用しやすい施設にする。	利用者からの意見をまとめ利用しやすい施設への改善。	9,365			
社会教育施設の維持管理	老朽化している学供施設の管理・運営・整備を行う。	施設や備品の状態を把握し改修計画の立案。	3,470			

③図書サービスの推進

事業	内容	本年度目標	予算	決算	成果・課題等	評価
デージー録音図書による視覚障がい者の方へのサービスの提供	ボランティア団体の協力を得て、CD版録音図書を作成し、提供をする。	「広報日の出」CD版の貸出件数の増加及び内容の充実。	60			
町内福祉施設や小中学校への	団体貸出冊数 100 冊、	新規団体やその利用者	無			

図書団体貸出の推進	貸出期間 3 ヶ月を基本に、良書に出会える機会を与え、その充実を図る。	を募り、団体貸出数の増加及び内容の充実化。				
ブックスタート事業の充実	3 ヶ月・4 ヶ月児健康診査で、親を対象に読み聞かせの大切さとその推進を図る。	幼児・児童のおはなし会をはじめとした、おはなし会の参加者数の増加及び内容の充実化。	114			

④ 図書館利用率向上の推進

事業	内容	本年度目標	予算	決算	成果・課題等	評価
おはなし会、一日体験図書館員事業の実施、小学校社会科見学の受け入れ	通常お話し会や夏冬のおはなし会を開催し、一日体験図書館員等の事業の実施を図る。	おはなし会や一日体験図書館員等の参加者数の増加と事業内容の充実化。	無			
図書館システム機能の活用	WEB予約や読書手帳事業をはじめとした図書館システム機能の活用。	WEB予約件数の増加、ひのでちゃん行政カード事業に参加した読書手帳の周知及び内容の充実化。	4,286			

⑤ 住民のスポーツ人口増加の促進

(単位：千円)

事業	内容	本年度目標	予算	決算	成果・課題等	評価
スポーツ推進委員事業の促進	スポーツをしていない方向けの事業の実施。	さらに参加者が増加する事業の検討。	2,813			
町主催スポーツ普及事業の開催	町独自のスポーツ推進事業の開催。	さらに参加者が前年度より上回る内容の教室の開催。	3,122			

体育協会の活動援助	各種スポーツ団体の育成と町民体育祭や元旦マラソン等の事業の開催。	参加者の安全管理と、体育祭の種目の再検討。	2,338			
総合型地域スポーツクラブの創設	多種で簡単なスポーツ教室の開催。	平成28年度設立を目指して準備の実施。	無			

⑥スポーツ施設の整備促進

(単位：千円)

事業	内容	本年度目標	予算	決算	成果・課題等	評価
施設の修繕計画の作成	施設の老朽化による維持管理を計画的に進める。	施設台帳を元に修繕計画を作成。	無			
スポーツと文化の森・谷戸沢サッカー場の施設整備	利用しやすい施設に整備する。	観客席の設置と日よけ対策の検討。	15,284			

⑦スポーツ団体の育成と支援

(単位：千円)

事業	内容	本年度目標	予算	決算	成果・課題等	評価
体育協会の活動援助と NPO 法人化への研究	体育協会の通常活動の援助と NPO 法人化。	体協事業の援助と NPO 法人となっている団体の視察と設立準備。	無			

⑧町民の芸術文化活動の育成と支援

(単位：千円)

事業	内容	本年度目標	予算	決算	成果・課題等	評価
町民文化祭の援助	文化祭が円滑に開催され文化活動の推進を行う。	文化祭運営の支援。	396			

⑨文化財の保護と公開活用の推進

(単位：千円)

事業	内容	本年度目標	予算	決算	成果・課題等	評価
町民登録文化財の登録	町民登録文化財の登録を行う。	第2回登録を年度内に実施する。	96			
都指定有形文化財の修復と修復記録の作成	「田中文書」の修復を実施する。(所有者実施)	修復の確認と修復時の手順や作業等の記録作成。	120			
町指定無形民俗文化財の修復と修復記録の作成 (国庫補助・実行委員会実施)	「玉の内の獅子舞」の獅子頭等の修理を実施する。	修復の実施と修復時の手順や作業等を記録作成。	930			
観光ガイド人材育成事業 (国庫補助・実行委員会実施)	文化遺産に関するガイドの知識の向上及び技法の熟達を図ると共に、一般住民に文化遺産が身近なものとして普及を図る。	住民を対象とした「文化遺産巡り講座」を2回実施する。	32			
地域の文化遺産継承事業 (国庫補助・実行委員会実施)	「加美町山車」の修理と「八幡山車」の作製。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「加美町の山車」の車輪の修理の実施</li> <li>・町指定有形民俗文化財の「山車(明治初年製作)」の製作技術を保存するため、その製作技法による山車(「八幡の山車」)を作製して技術を伝承する。</li> </ul>	1,767			

民俗文化財の映像記録事業 (国庫補助・実行委員会実施)	日の出町の伝統的な行事や民俗芸能を後世に残すため、映像を記録保存する。	日の出町の伝統的な行事や民俗芸能の記録撮影を行う。	3,030			
--------------------------------	-------------------------------------	---------------------------	-------	--	--	--

## 2. 地域の教育力の向上

### ① 青少年健全育成事業の推進

(単位：千円)

事業	内容	本年度目標	予算	決算	成果・課題等	評価
青少年委員事業の推進と見直し	青少年を対象に3つの事業を開催し、青少年健全育成を図る。	夏体験事業を新企画で開催する。	366			
青少年健全育成会事業の充実化	親子を対象に4つの事業を開催し、青少年健全育成を図る。	青少年健全育成会で親と子がふれあいを目的に餅つき・昔遊び等の事業を実施する。	1,170			

### ② 放課後子ども教室の推進

(単位：千円)

事業	内容	本年度目標	予算	決算	成果・課題等	評価
スタッフの確保	コーディネーターとサポーターの人員を確保し充実した教室を開催する。	コーディネーター1名。サポーター3名を確保する。	無			
教室の内容の充実化	多種の内容の教室を開催し充実した教室を開催する。	新しい教室の内容を1種類以上増やして実施する。	1,244			

[学校給食センター]

1. 学校給食の充実

①安全・安心な給食の提供

(単位：千円)

事業	内容	本年度目標	予算	決算	成果・課題等	評価
給食食材の放射性物質検査の継続	使用頻度の高い食材を選び食材に含まれるセシウム-134、セシウム-137の測定を行う。	放射性物質検査を継続し、食材の安全性を再確認するとともに、検査結果を公表する。	101			
地産地消の推進	地元で生産された野菜を季節に応じた旬の給食食材として使用する。	地元の生産者をはじめJA秋川・日の出町サービス総合センターと連携し、より安全・安心で新鮮な食材を給食献立に取り入れる。	無			

②食育の推進

(単位：千円)

事業	内容	本年度目標	予算	決算	成果・課題等	評価
給食センター栄養士による食育授業の実施	各小中学校に給食センター栄養士が訪問し、食に関する正しい知識や食習慣を養うための食育授業を行う。	全小中学校、全学年を訪問し、それぞれの学年に応じた給食指導をするとともに栄養バランスの良い食事のとり方などの学習を行う。	10			
特徴のある学校給食献立の実施	特徴のある献立を盛り込むことにより、児童・生徒の給食への興味関心	日本の行事や風習などの特徴ある献立を給食メニューに盛り込み給食に	無			

	を高める。	対する興味関心を高める。				
個々食器による給食指導	角型ランチ皿を個々食器に更新することによる給食指導を行う。	日本の伝統的な食習慣に関し、正しい理解やマナーを養う。	無			
料理教室の実施	小学校3・4・5年生対象に夏休み料理教室を実施し、調理体験及び試食を行うとともに食に関する指導を行う。	料理を通じて、仲間と協力することや食事のあり方マナーなどを学習し、食に関する興味関心を高める。	36			

③給食センター施設・設備等の整備改修

事業	内容	本年度目標	予算	決算	成果・課題等	評価
食器洗浄機入替工事	設置後24年が経過する食器洗浄機の入替工事を行う。	学校休業期間に合わせ個々食器対応の食器洗浄機の入替を行う。	27,389			
個々食器の導入	老朽化した食器洗浄機の入替に伴い現在使用の角型ランチ皿に替え個々食器の導入をする。	2学期の給食開始に合わせ個々食器による給食配膳を実施する。	7,143			